

平成30年度 学校版環境ISOへの取組 概要報告

管内	市町村	学校名
玉名	玉名市	岱明中学校

1 取組の概要

項目	活動の様子（写真）	取組の実際
宣言	<p>【生徒】</p> <p>①水、電気の節約（昨年度比2%減目標） 教室を使わないときや、掃除のときは電気、扇風機、エアコンのスイッチを消します。清掃時はバケツを利用します。歯磨きの時、水を出しつぶなしにしません。</p> <p>②リサイクル活動（アルミ缶回収昨年度比2%増） 全校生徒でアルミ缶、ペットボトルとふた、金属類、紙類などのリサイクルに努めます。アルミ缶については、業者に回収してもらい換金し、それを被災地支援金や校内環境美化として活用します。</p> <p>③残菜ゼロ活動 給食での残菜ゼロを目指します。</p> <p>④掃除の徹底 無言清掃を行い、校舎・校庭の美化作業に努めます。また定期的なトイレ掃除を行い、清らかな心を育てます。</p> <p>【職員】</p> <p>①水、電気の節約 不要のない照明や冷暖房のスイッチをこまめに消します。また、残業を減らし20:30退勤を目指します。また月の残業時間を80時間までを目標とし、節電に努めます。</p> <p>②リサイクル活動 リサイクルを進め、排出ゴミを減らします。 ゴミ袋の有効活用に努め、ゴミ袋の消費削減に努めます。 両面印刷や裏紙の再利用での紙の消費を抑えます。</p> <p>④掃除の徹底 校舎・校庭の美化作業に努め、環境改善に努めます。 花の栽培を行ったり廊下に生花を飾ったりして、花いっぱいの学校にします。</p>	
行動	<p>①水、電気の節約 代議員や日直が中心となり節電に取り組みました。移動教室や下校時など電気をこまめに消す習慣が身についてきました。また、本年度からエアコンが付き、エアコン使用の可能温度を明確に設定しエアコン利用を進めました。エアコンが付いたままの教室があると、子どもたちが気付き職員室に教えに来るなど、節電に心がけていました。</p> <p>節水では、ぞうきんがけの水は少量の水をバケツに汲み行っています。一度汲んだ水は最後まで捨てることなく利用しています。</p> <p>職員室ではお互いに声を掛け合って、退勤時間を早めるように努力し、節電に努めました。</p>	



②リサイクル活動

今年度もボランティア委員会が中心となって「アルミ缶集め」を行いました。昨年同様、クラスマッチ形式で競い合い、昨年度比2%増を目指し、ボランティア委員がクラスで呼びかけ取り組みました。学級通信にも取り上げ、保護者の協力を仰ぎました。

職員室には、リサイクルボックスを設置しています。また、職員に配布するプリント類などは極力、用紙の裏面利用を行うようにしました。また、新聞紙を窓ふきに使用したり、広告用紙は給食委員会が箱型に折り、給食のゴミ入れとしてゴミ袋の代わりとして使用しています。職員室でも同じように利用しています。

整美委員会はゴミの分別の確認を定期的に行ってています。

③残菜ゼロ活動

給食委員会を中心に「残菜ゼロ週間クラスマッチ」に取り組みました。給食のつぎ分けの時から、当番がすべてつぎ分け食缶が空になるようにしています。クラスマッチの結果は、掲示され、意識が高まっています。

④掃除の徹底

掃除では例年に引き続き、無言掃除を行いました。無言掃除では「無言掃除を通して身につける5つの心（我慢する心、思いやりの心、気づく心、感謝する心、正直な心）」を目標に整美委員会を中心に呼びかけを行いました。

また、校舎内、教室環境を整えるために、生活委員会とも協力をして、棚の整理やぞうきん掛けの整理など、教室環境を整える取り組みも行いました。

さらに地域の民生委員の方々とも協力してロータリーの花の植え替えを行ったり、熊本便教会の方と協力して、トイレ掃除による心の育成にも取り組みました。

記録

第2回アルミ缶回収結果 ボランティア活動		
○1月20日～22日に実行したアルミ缶回収結果を記載します。（）内は1日とあります。		
1-1 32個(1セイ2個)	1-2 135個(121個)	1-3 19個(2個)(26×2個)
2-1 10個(8×1個)	2-2 0個(4×1個)	2-3 16個(57×1個)
3-1 16個(2×1個)	3-2 44個(11×0個)	3-3 13個(3×8個)
○2回合計29,001個		
1-1 66個(5×1個)	1-2 65個(5×3個)	1-3 69個(5×9個)(5×7個) 下川町立小学校100個
2-1 55個(5×1個)	2-2 27個(4×2個)	2-3 42個(4×1個)
3-1 30個(5×1個)	3-2 34個(4×2個)	3-3 46個(5×9個)
今回の収益金2000円(田中金物商店) 第1回・第2回合計金額 4300円 (金額赤い羽根共同募金へ寄付します。) ご協力ありがとうございました！		

①水、電気の節約

水の使用量については、8月のみが昨年度よりも増加(H29は238m³に対しH30は240m³)してしまいましたが、その他の月は昨年度より減少し、昨年比2%減もクリアしています。

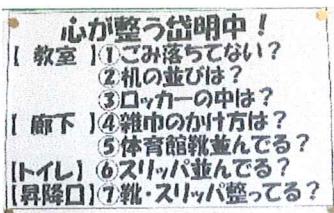
電気の使用量については、5月(H29は6554kWに対しH30は6235kW)、11月(H29は8380kWに対しH30は7812kW)、12月(H30は7795kWに対しH30は7510kW)のみが昨年度よりも下回り、昨年度比2%減を達成しましたが、その他の月では、昨年度を上回ってしまいました。

②リサイクル活動

7月に行われたアルミ缶集めクラスマッチでは総計2188個、11月に行われたクラスマッチでは総計3069個のアルミ缶が集まりました。1回・2回ともに業者に回収してもらい、その収益金を赤い羽根共同募金として寄付しました。前年度は3502個だったのに対し、今年度は5257個と増加しました。

③残菜ゼロ活動

残菜ゼロの活動として、給食委員会を中心に残菜0週間クラスマッチを行いました。ほとんどのクラスが1週間の残菜が1.0kg以内と生徒の意識も高まりました。

		<p>④掃除の徹底</p> <p>整美委員会を中心に呼びかけ、無言掃除の徹底が図られるようになってきました。完全とはいえませんが、私語の数も減っています。掃除の始まりも放送委員会と協力して、始まりの音楽をかけてもらうことでスムーズにスタートをきることができます。</p> <p>また、地域の民生委員の方々とのロータリーの花の植え替えは本年度2回、そして、便教会とのトイレ掃除も2回行うことができました。</p>
見直し		<p>①水、電気の節約</p> <p>生徒、職員ともに節約に習慣が身についてきています。ただし、今年度、教室にエアコンが設置されたため、電気の使用量が増加してしまいました。次年度はエアコン使用について工夫を凝らします。</p> <p>②リサイクル活動</p> <p>昨年度よりも回収の量は増えましたが、持ってくる生徒とそうでない生徒が偏っている傾向にあります。事前に通信等でも呼びかけをし、さらに広く各家庭に周知し、リサイクルに取り組めるようにします。</p> <p>③残菜ゼロ活動</p> <p>残菜ゼロ週間を通して、すべての学級で残菜ゼロになるよう取り組んでいきたいと思います。また、食育の面や、健康の面からも食事の大切さをアプローチしていきたいと考えています。</p> <p>④掃除の徹底</p> <p>掃除の時間に話し声が一切聞こえない環境を目指すべく、無言掃除の徹底を今後も習慣化していきます。また、地域の方々と協力して花の整備やトイレ掃除を引き続き行い、環境整備をさらに良いものにしていきたいと考えています。</p>

2 成果と課題

成 果	課 題
<p>例年行っているものに加え、今年度は特に教室環境の整備に力を入れることができました。また、地域の方と協力して花の植え替えやトイレ掃除を行うこともできました。このことで、生徒の整理整頓に対する意識も高まり、優しい心も育ってきているように感じます。今後も引き続き行っています。</p>	<p>該当委員会ではこの学校版環境 ISO に対する意識が高いですが、その他の生徒にはまだ意識の浸透が十分でないところがあります。4月当初から生徒会での全校生徒に対する呼びかけ、また、学級通信による各家庭への呼びかけを次年度はさらに行っていきたいと思います。</p>